

連合陸上大会

陸上競技を通じて中学生の体力向上、学校相互の親睦を深めることを目的とした連合陸上大会が、今年も9月19日（木）に江戸川区陸上競技場で開催されました。

当日は天気恵まれ、ウォーミングアップする各校の代表生徒たちの顔もやる気に満ちあふれていました。競技は女子の100メートル走（予選）から始まり、各競技に出場した生徒たちは練習の成果を十分に発揮すべく、奮闘しました。

また、スタンドからの声援も響き渡り、競技場全体が興奮に包まれました。大会運営にあたり、PTAの皆様には多大なるご協力を賜り、ありがとうございました。

会 場 江戸川区陸上競技場

競技種目 **男子の部**：100メートル走、200メートル走、400メートル走、800メートル走、1500メートル走、100メートルハードル走、走り幅跳び、走り高跳び、学年別4×100メートルリレー
女子の部：100メートル走、200メートル走、800メートル走、1500メートル走、100メートルハードル走、走り幅跳び、走り高跳び、学年別4×100メートルリレー



少年リーダー養成研修会を実施しました

小学5年生から中学生を対象に8月3日（土）・4日（日）の事前研修、8月12日（休）から15日（木）までの柏学園での宿泊研修、8月31日（土）の事後研修の7日間という日程で少年リーダー養成研修会を実施し83名が参加しました。

この研修会は、地域や学年の異なる仲間と生活を共にし、様々なプログラムに取り組み、集団生活のルールや地域のリーダーに必要な知識を学ぶために行っています。

実施にあたっては、青少年委員を中心に、大学生・高校生スタッフなど50名以上の体制で研修生を指導していただきました。

参加した研修生たちが、この研修会を通して得た体験を生かし、学校や地域で大いに活躍されることを期待します。



「おやじの出番!」を開催しました～「親子キス釣り体験教室」～

中央区地域家庭教育推進協議会では、父親の子育て参加を応援する「おやじの出番!」を毎年実施しており、今年度は「親子木工教室」に続き、8月24日（土）・25日（日）に、「親子キス釣り体験教室」を開催しました。

毎年人気で、20組定員のところ2倍の申込みがあり、お父さんとお子さんが協力しながら楽しく学習会に参加しました。日本釣振興会と東京湾遊漁船業協同組合の全面的なご協力をいただき、1日目は釣りのマナーや仕掛けの付け方、注意事項などを学ぶ事前学習を行い、2日目は朝潮運河船着場より朝7時30分に2艘の釣り船に乗って出航しました。

今年度は天候や波が安定しており、親子で沢山のキスを釣り上げたほか、カワハギやタイ、アジなどがかった人もいました。

今後も協議会では家庭教育の推進を目的とした学習会を開催します。「区のおしらせ中央」や「家庭教育学習会のお知らせ」などをご覧ください、ぜひご参加ください。

問合せ先 中央区地域家庭教育推進協議会事務局
(区民部文化・生涯学習課内)
☎(3546) 5526



第16回中央区キンボールスポーツ大会(サマーカップ)の結果

8月12日（休）に区立総合スポーツセンターで開催された本大会は、区内8つの小学校、2つの中学校の児童・保護者の仲間などでチームを組んで、総勢39チーム196人が参加しました。どの部門も白熱した試合が展開され盛況のうちに終わりました。大会は2月のウインターカップと8月のサマーカップの年2回開催しており、次回は令和2年2月11日（祝）に開催予定ですので、多くのご参加をお待ちしております。

	小学1・2・3年生の部	小学4・5・6年生の部
優勝	ミラクルスター勝どき (月島第二小学校)	月ニスターズ up (月島第二小学校)
準優勝	ファイブスターズ (泰明小学校)	ドラゴンファイヤーZ (豊海小学校)
第3位	ブルーフェニックス (豊海小学校)	泰明クリスタルドラゴン (泰明小学校)



中学生海外体験学習

Open the door to the future.
Connect to the bridge of beautiful harmony ~Reiwa~.



小学校での交流活動



海岸でのボランティア活動（プッシュケア）



ホストファミリーとのお別れ式

7月26日（木）から8月4日（日）までの11日間、区立中学校4校の代表生徒（第2学年）24名が本区と姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市を訪れました。派遣は今年で31回目を数え、平成元年から984名の生徒が派遣されています。今回は令和最初の日本からの派遣団となりました。

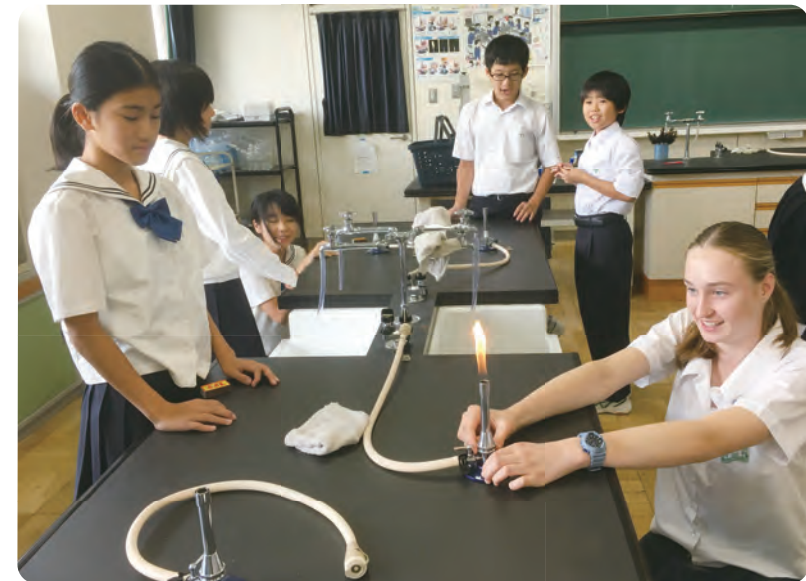
今年の派遣団は、「拓く未来への扉」つなげよう令和の架け橋をスローガンに掲げ、派遣の2ヶ月前からオーストラリアの文化や歴史・生活習慣などに関する学習を重ねることも、「コミュニケーションの基礎となる英会話の習得」に励んでいました。その甲斐あって、8日間のホームステイや現地中学校での体験入学を通して、ホスト

ファミリーや現地の中学生と積極的に交流し、親睦を深めることができました。

また、日本の名曲「ふるさと」の披露や、折り紙やけん玉といった伝統的な遊びを紹介した現地小学生との交流、海岸・植樹を行った環境保護活動などを通して、日本のアンバサダーとなりました。

さらに、先住民族についての学習活動では、アボリジナルの方からのお話のほか、昔の狩猟道員に触れるなどの体験から、オーストラリアに関する歴史や伝統について理解を深めることができました。

ホストファミリーとのお別れ式は大変感動的で、生徒たちの表情はお世話になった方々への感謝の気持ち、このかけがえのない経験を、



晴海中学校での授業体験

今回の経験のおかげで、家族全員がより人間的に成長することができた」と語ってくれました。サザランド市の生徒、彼らと交流した中央区の子どもたちが、今回の交流をきっかけに、外国の人々と互いに文化や習慣を理解しあうことの大切さに気づき、豊かな国際感覚を育んでいくことを期待します。

9月26日（木）から10月6日（日）までの11日間、サザランド市の生徒7名が本区を訪れました。

滞在期間のうち3日間は、サザランド市の中学生がホストファミリーの生徒（ホストファミリー）が通う区立中学校に体験入学しました。ホストファミリーと一緒に登校し、授業や部活動に参加しました。また各中学校では、琴や茶道、華道といった日本文化を体験できる特別授業を設定し、サザランド市の生徒をもてなしました。サザランド市の生徒達は、初めてのことは慣れないことも多く戸惑いの様子もありましたが、体験入学最終日には、クラスメイトから色紙や手紙などのプレゼントを受け取り、嬉しそうな表情を浮かべていました。

た。日本文化や日本の学校生活へ興味・関心を深め、楽しむことができたようです。

また、国際教育ハブ校校である常盤小学校の子どもたちとも交流を行いました。6年生では、お互いの国についての質問を合行、1年生では、チーム対抗戦で玉入れ競技を行い、緒汗を流しました。常盤小学校の子ども達もサザランド市の生徒との交流を楽しみしており、学生ごに趣向を凝らした交流活動をお迎えをし、楽しいコミュニケーションをとっていました。

ホストファミリーとのお別れ式では、多くの生徒が涙を流しながら感謝の気持ちを伝え、ホストファミリーとの別れを惜しみました。あるホストファミリーは「今



